

令和6年度岩手育英奨学会奨学生願書（在学・緊急）＜タイプA＞

1/3ページ

受付番号

公益財団法人岩手育英奨学会長 様

令和 年 月 日

下記の記載事項に相違ありません。貴会の奨学金を申し込みます。

フリガナ 本人氏名	氏	名	※男・女	申込印 印	住所 〒			
	生年月日	平成 年 月 日生			Tel. - -			
学校名	立 高等学校 第 学年 (全日制・定時制・通信(単位)制・専攻科)			自宅・自宅外 どちらかに○	自宅外の場合 寮・下宿等の住所			
出身中学校	立 中学校			他の奨学金の有無	※有・無 有の場合(名称)			
フリガナ 連帯保証人(保護者)	氏	名	※男・女	印	住所 〒			
生年月日	昭和 年 月 日生	本人との続柄			Tel. - -			
<p>※下記連帯保証人は、現時点での予定者で結構ですが、保護者とは別世帯、別住所の独立した生計を営んでいる62歳以下の方を御記入ください。候補者決定後、印鑑登録証明書と所得課税証明書の提出が必要となります。</p>								
フリガナ 連帯保証人(別世帯で62歳以下)	氏	名	※男・女	本人との続柄	住所 〒			
生年月日	昭和・平成 年 月 日生	職業			Tel. - -			
生計を一にする家族及び所得	続柄	氏名	年令	勤務先名	所得の種類	収入・売上金額(税込) 万円	所得金額(税込) 万円	
	父						①	
	母						②	
							③	
							④	
							⑤	
所得金額の合計額						⑥		
別居者に○印	続柄	氏名	年令	※設置者別	※学校種別	学年	※通学別	控除額 万円
	本人							⑦
				※国公立・私立	※小・中・高・高専・専門・短大・大	年	※自宅・自宅外	⑧
				※国公立・私立	※小・中・高・高専・専門・短大・大	年	※自宅・自宅外	⑨
			※国公立・私立	※小・中・高・高専・専門・短大・大	年	※自宅・自宅外	⑩	
所得から差し引かれる金額	ア 母子・父子世帯(子女が18歳未満及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等)					(一律49万円)	⑪	
	イ 障がいのある人がいる世帯(公害疾病の認定を受けた障がいのある人、常に就床を要する要介護の人等)					(1人につき86万円)	⑫	
	ウ 家計支持者が別居している世帯(別居による、住居・光熱・水道・家具・家事用品の実費)					(71万円限度)	⑬	
	エ 長期に療養を必要とする人のいる世帯(6か月以上療養中の人、療養を必要とする人)						⑭	
	オ 火災・風水害または盗難などの被害を受けた世帯(前年から申込時までに被害をうけ、今後2年以上の支出増・収入減の年間金額)						⑮	
	[⑦～⑮の計]控除額合計						⑯	
学校認定欄	[⑥～⑯]認定所得金額						⑰	
	世帯人員 人						収入基準額 ⑱	
奨学会認定欄						⑲		

申込者は「奨学金案内」を参照し、太線内を記入すること。

※印のところは該当のものを○で囲んでください。

学校名

本人氏名

家 庭 事 情	奨学金の貸与を希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することを記入してください。

※以下学校記入欄

家庭の状況 <small>該当するものを○ で囲んでください</small>	※ 1 生活保護法の適用を受けている（要保護） 2 母子家庭 3 父子家庭 4 非課税世帯 5 その他（ ）		
緊急採用の 場合	※ 1 家計急変の事由 ア 家計支持者が会社の倒産等により解雇又は早期退職 イ 家計支持者が死亡又は離別 ウ 家計支持者が破産 エ 病気、事故、会社倒産、経営不振等により著しく収入が減少 オ 火災、風水害、震災等により著しく支出が増大又は収入が減少 カ その他、緊急に奨学金が必要になった場合 2 事由の生じた年月 令和 年 月 3 希望する貸与始期 令和 年 月（遡ることができる時期は、令和6年4月が限度）		
学習成績（5段階） の 評 定 平 均 値	※ 中学校 高校	(注) 学習成績の評定が出ない場合で文章 記述が可能な場合はそれに従ってよい。	「自宅外月額」学校認定欄
緊急採用の場合	学力基準に合致しているものと認めます。		※ 基準ア・基準イ
推 薦 所 見 （ 人 物 、 学 力 、 家 計 、 学 資 等）			
所見記入者職氏名			㊟
上記の者は、人物学業とも優秀で、かつ健康であり、貴会の奨学生として適当な者と認め推薦します。			
令和 年 月 日			
公益財団法人岩手育英奨学会長 様			
学校名			
校長名			
			職 印

